

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			キャリア教育	
科目名	キャリア教育Ⅲ		担当教員名	山本 竜太
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	703教室
授業の到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、 社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。 【実務経験】大学卒業後、同大学研究室の助手として2年間勤務。その間、映画監督で脚本家の中島貞夫氏に師事し、映画の現場などを経験する。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	イベント制作演習①		
2	演習	イベント制作演習②		
3	演習	イベント制作演習③		
4	演習	イベント制作演習④		
5	講義	新人発掘プレゼンテーションガイダンス④		
6	講義	オーディション対策		
7	講義	イベント現場のルール		
8	講義	契約書について		
9	講義	ITリテラシー(メール)		
10	講義	ITリテラシー(時事問題)		
11	講義	目標シート作成②		
12	講義	マナー講座(保険、税金、確定申告)		
13	講義	著作権について		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習				
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3.課題(100%)		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			キャリア教育	
科目名	キャリア教育Ⅳ		担当教員名	山本 竜太
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	703教室
授業の到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、 社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。 【実務経験】大学卒業後、同大学研究室の助手として2年間勤務。その間、映画監督で脚本家の中島貞夫氏に師事し、映画の現場などを経験する。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス⑤		
2	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス⑥		
3	演習	定量的目的と定性的目的について		
4	演習	社会人基礎力⑦発信力		
5	講義	社会人基礎力⑧傾聴力		
6	講義	社会人基礎力⑨柔軟性		
7	講義	社会人基礎力⑩状況把握力		
8	講義	社会人基礎力⑪規律力		
9	講義	社会人基礎力⑫ストレスコントロール力		
10	講義	文書作成について、5W1Hについて		
11	講義	イベント制作演習⑤		
12	講義	イベント制作演習⑥		
13	講義	イベント制作演習⑦		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習				
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3.課題(100%)		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			ミュージックセオリー	
授業名	コンテンポラリーミュージックセオリー 3		担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	601教室
授業の到達目標	CMT1・2で学んだ基本的な知識から踏み込んで、演奏者や制作者になるため、また彼らと密なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 音楽に関わる演奏者、作曲・編曲を行う者に必要なハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。 <b>【実務経験】</b> 国内外でコマーシャルミュージックを専門的に教える専修学校や大学において、パフォーマンスや作曲・編曲を専攻しディプロマ以上の資格を取得した者のうち、本科目を教えることができる能力を認められた者。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	サブスティテュート ドミナント コード		
2	演習	サブスティテュート ドミナントのコード スケール		
3	演習	メジャーキーにおけるモーダル インターチェンジ ①		
4	演習	メジャーキーにおけるモーダル インターチェンジ ②		
5	演習	モーダル インターチェンジ コードのコード スケール		
6	演習	モーダル インターチェンジ コードのアナライズ		
7	演習	マイナー キーにおけるモーダル インターチェンジ①		
8	演習	マイナーキーにおけるモーダル インターチェンジ ②		
9	演習	モーダル インターチェンジ コードのコード スケール		
10	演習	モーダル インターチェンジ コードのアナライズ		
11	演習	ブルース		
12	演習	ブルースのコード進行とそのヴァリエーション		
13	演習	ドミナント ファンクションを持たないドミナント セブンスコード		
14	演習	レビュー		
15	演習	学期末試験		
準備学習 時間外学習	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1、筆記試験50% 3、課題50%		
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			ミュージックセオリー	
授業名	コンテンポラリーミュージックセオリー 4		担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修	教室	601教室
授業の到達目標	現代のポピュラー音楽を演奏、作曲、編曲、制作を行うにあたって必須となるハーモニーの知識を、実際に演奏・作曲・編曲するレベルまで身につける。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 演奏者、作曲・編曲・制作を行う者に必要な、ハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。			
<b>【実務経験】</b> 国内外でコマースミュージックを専門的に教える専修学校や大学において、パフォーマンスや作曲・編曲を専攻しディプロマ以上の資格を取得した者のうち、本科目を教えることができる能力を認められた者。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	音とは・鍵盤・音名・変化記号・五線・音部記号・譜表		
2	演習	音符・休符・拍子・拍子記号		
3	演習	曲の進行に関する記号等・略記法・速さや強さに関する記号・奏法に関する記号		
4	演習	メジャー スケールと全音・半音		
5	演習	マイナー スケール		
6	演習	五度圏・調号・調関係		
7	演習	インターバルの度数と名称		
8	演習	転回・単音程・複音程・協和音程と不協和音程		
9	演習	コードの定義・コード シンボル		
10	演習	トライアードとその転回形		
11	演習	セブンスコードとその転回形		
12	演習	シックスコード・サスフォーコード		
13	演習	ナチュラルテンションとその意味		
14	演習	レビュー		
15	演習	学期末試験		
準備学習 時間外学習	テキスト、ワークブックを用いたの予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1、筆記試験50% 3、課題50%		
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			イヤートレーニング	
授業名	イヤートレーニング 3		担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	601教室
授業の到達目標				
現代において音楽に関わる仕事に就くために必須となるポキャブラリー、記号、表記方法、聴取力を身につけ、作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。				
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記法、聴取力について講義、ワークブックを通じて学ぶ。				
<b>【実務経験】</b>				
国内外でコマースミュージックを専門的に教える専修学校や大学において、パフォーマンスや作曲・編曲を専攻しディプロマ以上の資格を取得した者のうち、本科目を教えることができる能力を認められた者。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、メジャー、3種のマイナーレピュー		
2	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、Cミクソリディアン		
3	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、Cミクソリディアン		
4	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、ミクソリディアン(3♭3#)		
5	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、Cドリアン		
6	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、Cドリアン		
7	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、ドリアン(3♭3#)		
8	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、Cリディアン		
9	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、Cリディアン		
10	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、リディアン(3♭3#)		
11	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、Cフリジアン		
12	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、Cフリジアン		
13	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、全ての音符、フリジアン(3♭3#)		
14	演習	エクストラプラクティス、レビュー		
15	演習	学期末試験		
準備学習 時間外学習	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	学期末試験を中心に、平常の授業参加度も考慮し総合的に評価する。単位取得に関しては既定の出席率をクリアしていることを前提とする。 1、筆記試験50% 3、課題50%		
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			イヤートレーニング	
授業名	イヤートレーニング 4		担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修	教室	601教室
授業の到達目標	演奏や楽曲制作に関わる仕事に就くために必須となるポキャブラリー、記号、表記方法、聴取力を身につけ、作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記法、聴取力について講義、ワークブックを通じて学ぶ。 <b>【実務経験】</b> 国内外でコマーシャルミュージックを専門的に教える専修学校や大学において、パフォーマンスや作曲・編曲を専攻しディプロマ以上の資格を取得した者のうち、本科目を教えることができる能力を認められた者。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	シンコペーション レビュー		
2	演習	16分音符のグルーピング レビュー		
3	演習	ファイブフォー		
4	演習	ファイブエイト		
5	演習	セブンフォー		
6	演習	セブンエイト		
7	演習	スリーツー/シックスフォー		
8	演習	オッドミーターまとめ		
9	演習	転拍子		
10	演習	リズムオブザワールド①		
11	演習	リズムオブザワールド②		
12	演習	リズムオブザワールド③		
13	演習	複雑な奇数分割のリズム		
14	演習	エクストラプラクティス、レビュー		
15	演習	学期末試験		
準備学習 時間外学習	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	学期末試験を中心に、平常の授業参加度も考慮し総合的に評価する。単位取得に関しては既定の出席率をクリアしていることを前提とする。 1、筆記試験50% 3、課題50%		
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目		ヒストリーオブミュージック	
科目名	パフォーミングアーツ史1	担当教員名	あまのしげ
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	パフォーミングアーツの歴史を学び、正しい理解のもと表現者として あるいはディレクター・マネージャーとしてエンターテイメント業界で働く為に必要な知識を 身につける。		
授業の内容	<p>パフォーミングアーツの歴史として舞台舞踊史を学ぶ。</p> <p>【実務経験】1982年の活動開始より、44回にわたり個展を開催。岸和田市文化振興審議会委員、岸和田市景観審議会委員、岸和田文化事業協会理事等を歴任。大阪芸術大学、四国大学で非常勤講師を勤めた。市民講座「絵画のひみつ」を岸和田市、和泉市、豊中市、堺市などで行った。現在、毎日文化センター講師、大阪芸術大学通信教育部講師。</p> <p>【実務経験】</p>		
回数	授業形態	内容	
1	講義	歴史を学ぶということ～イントロダクション～	
2	講義	日本の演劇の歴史①	
3	講義	日本の演劇の歴史②	
4	講義	日本の演劇の歴史③	
5	講義	日本の演劇の歴史④	
6	講義	日本の演劇の歴史⑤	
7	講義	日本の演劇の歴史⑥	
8	講義	世界の演劇の歴史①	
9	講義	世界の演劇の歴史②	
10	講義	世界の演劇の歴史③	
11	講義	世界の演劇の歴史④	
12	講義	世界の演劇の歴史⑤	
13	講義	世界の演劇の歴史⑥	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	2. 筆記試験50% 3. 課題50%	
教材	教科書		
	参考書		

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目		ヒストリーオブミュージック	
科目名	パフォーミングアーツ史2	担当教員名	あまのしげ
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	パフォーミングアーツの歴史を学び、正しい理解のもと表現者としてあるいはディレクター・マネージャーとしてエンターテイメント業界で働く為に必要な知識を身につける。		
授業の内容	<p>パフォーミングアーツの歴史として舞台舞踊史を学ぶ。</p> <p>【実務経験】1982年の活動開始より、44回にわたり個展を開催。岸和田市文化振興審議会委員、岸和田市景観審議会委員、岸和田文化事業協会理事等を歴任。大阪芸術大学、四国大学で非常勤講師を勤めた。市民講座「絵画のひみつ」を岸和田市、和泉市、豊中市、堺市などで行った。現在、毎日文化センター講師、大阪芸術大学通信教育部講師。</p> <p>【実務経験】</p>		
回数	授業形態	内容	
1	講義	ダンスの始まり	
2	講義	ワールドダンス	
3	講義	バレエの歴史	
4	講義	ジャズダンスの歴史①	
5	講義	ジャズダンスの歴史②	
6	講義	モダンダンスの歴史①	
7	講義	モダンダンスの歴史②	
8	講義	ストリートダンスの歴史①	
9	講義	ストリートダンスの歴史②	
10	講義	ストリートダンスの歴史③	
11	講義	ミュージカルの歴史	
12	講義	コンテンポラリーダンスの歴史	
13	講義	これからのダンスについて	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	2. 筆記試験50% 3. 課題50%	
教材	教科書		
	参考書		



## スーパーeエンターテイメント科昼間 I 部 シラバス

授業科目			ミュージックテクノロジー	
科目名	アレンジ実技2		担当教員名	小林 哲
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	605
授業の到達目標				
楽曲コンペ、企業課題採用レベルのアレンジスキル、MIDIプログラミングスキル習得。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
様々なジャンルのアレンジスタイル（楽器構成、フレージング）をMIDIプログラミングの実習を通して学ぶ。Basic アレンジ（リズム、ベース、メインのコード楽器）の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける。				
【実務経験】 作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	Basicアレンジ完成		
2	演習	Funky Groove 1 Track 完成/Basicアレンジ開始		
3	演習	Funky Groove 2 Track 完成		
4	演習	Basicアレンジ完成		
5	演習	Funky Groove 3 Track 完成/Vo素材に対するアレンジワーク		
6	演習	Vo素材に対するアレンジワーク（Funky Groove編を踏まえて）		
7	演習	Basicアレンジ完成		
8	演習	Rock 1 Track 完成		
9	演習	Basicアレンジ完成		
10	演習	Rock 2 Track 完成		
11	演習	Basicアレンジ完成		
12	演習	Pop Track 完成		
13	演習	Vo素材に対するアレンジワーク（Rock、Pop編を踏まえて）		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の 変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。 自曲のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3、課題 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			インストルメンツ	
授業名	アレンジ 1		担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	601教室
授業の到達目標				
4リズム+メロディー楽器の編成で、リズムセクションのアレンジ、メロディーのアレンジを行い、スコアを書くことができる。				
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
ポピュラー音楽の編曲作業に必要な用語、記号、表記の方法、編曲法、さらにはスコアの書き方を講義、演習を通じて学ぶ。				
<b>【実務経験】</b>				
国内外でコマーシャルミュージックを専門的に教える専修学校や大学において、パフォーマンスや作曲・編曲を専攻しディプロマ以上の資格を取得した者のうち、本科目を教えることができる能力を認められた者。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	コース概要の説明。編曲の手順、スコアレイアウト、スコアリーディング、スコアアナライズ。		
2	演習	リズムセクション(4リズム)について。		
3	演習	ドラムセットとベース。8分音符リズムと16分音符リズム。		
4	演習	メロディー楽曲の形式。		
5	演習	スコアレイアウトとアレンジのフォーム。		
6	演習	トリオのためのアレンジ。メロディー楽器+ベース+ドラムス。		
7	演習	中間課題の説明と中間試験に向けた復習。		
8	演習	中間試験及び中間課題の提出。		
9	演習	4リズムのためのリズムアレンジ(ロック/ポップ、スイング、ボサノバ、ファンク)		
10	演習	選曲とメロディー楽器についての考察。メロディーのアレンジ。		
11	演習	スコアレイアウトとアレンジのフォーム。記譜法についての復習と詳細。		
12	演習	ギターとキーボード(ピアノ)の詳細(ヴォイスिंग)の書き方。		
13	演習	編曲の手順、復習、詳細、そして練習。		
14	演習	期末課題の説明と期末試験に向けて復習。		
15	演習	期末試験及び期末課題の提出。		
準備学習 時間外学習	ポピュラーミュージックの編曲において使用されるすべての楽器について、音域や奏法上の特徴を覚える。ギターやピアノなどリズムセクションの楽器について、実際に演奏してみることでその特徴を学ぶ。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	学期末試験を中心に、平常の授業参加度も考慮し総合的に評価する。単位取得に関しては既定の出席率をクリアしていることを前提とする。 1、筆記試験50% 3、課題50%		
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			インストルメンツ	
授業名	アレンジング 2		担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修	教室	601教室
授業の到達目標	4リズム+メロディー楽器の編成で、リズムセクションのアレンジ、メロディーのアレンジを行い、スコアを書くことができる。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>ポピュラー音楽の編曲作業に必要な用語、記号、表記の方法、編曲法、さらにはスコアの書き方を講義、演習を通じて学ぶ。</p> <p><b>【実務経験】</b></p> <p>国内外でコマーシャルミュージックを専門的に教える専修学校や大学において、パフォーマンスや作曲・編曲を専攻しディプロマ以上の資格を取得した者のうち、本科目を教えることができる能力を認められた者。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	コース概要の説明。アレンジング 1 の復習。		
2	演習	メロディーとハーモニーの関係。和声音と非和声音。コードシンボルの復習。		
3	演習	楽器グループと音域。ソロ、ユニゾン、オクターブメロディー。メロディーのアレンジメント。		
4	演習	4パートソリ。メカニカルヴォイスイング(4ウェイクローズ、ドロップ2、ドロップ3、ドロップ2+4)		
5	演習	4パートソリ。アプローチテクニック。ローインターヴァルリミット。		
6	演習	2パートソリ、3パートソリ。		
7	演習	中間課題の説明と中間試験に向けた復習。		
8	演習	中間試験及び中間課題の提出。		
9	演習	ヴォイスリーディングとガイドトーンライン。		
10	演習	ガイドトーンバックグラウンドとスプレッドヴォイスイング。		
11	演習	ガイドトーンラインの装飾とカウンターメロディー。		
12	演習	インデペンデントリード。ソリとの混用。		
13	演習	アーティキュレーション。編曲の手順、復習、詳細、そして練習。		
14	演習	期末課題の説明と期末試験に向けて復習。		
15	演習	期末試験及び期末課題の提出。		
準備学習 時間外学習	授業で与えられる課題以外にも、自分のバンドのレパートリーや制作している楽曲のスコアを制作してみることで、授業内容に対する理解が深まります。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	学期末試験を中心に、平常の授業参加度も考慮し総合的に評価する。単位取得に関しては既定の出席率をクリアしていることを前提とする。 1、筆記試験50% 3、課題50%		
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間 I 部 シラバス

授業科目			パフォーマンス	
科目名	ファンデーションBa		担当教員名	岡本陽一
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	E N432
授業の到達目標				
ベースという楽器を基礎から学び楽器の特性を知ること为目标とする。授業内のテーマを学習することにより、楽曲においてのベースの役割を学び自己の音楽力向上が目標となる。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する定番のフレーズを持つ課題曲を通じてリズムや音使い、フォームや運指などベースの基礎を学びます。				
【実務経験】大阪スクールオブミュージック専門学校卒業後、LosAngels Music Academyへ入学。2年間のプログラムを履修し卒業。2002年帰国後はOSMプロミュージシャン科ベースコースの講師に就任。その後東京へ拠点を移し様々なアーティストのツアーやレコーディングに参加。主なアーティスト:夏川りみ、Kiroro、DoAsInfinity、Hey!Say!JUMP、伊藤由奈				
回数	授業形態	内容		
1	演習	Cメジャースケールを色々なポジションで弾く。		
2	演習	定番の8 beatフレーズを弾く。		
3	演習	課題曲、Have you Ever Seen The Rain		
4	演習	(初めてベースを弾く人も、曲を最後まで演奏する感覚を知ってもらう。)		
5	演習	課題曲、Proud Mary		
6	演習	( 8 beat の定番フレーズのトレーニング。)		
7	演習	課題曲、Every Breath You Take		
8	演習	( 8 best の定番フレーズのトレーニング。 )		
9	演習	運指トレーニング ( 左右のフォームをチェックする。 )		
10	演習	課題曲、Get Ready		
11	演習	( ベースのリフが中心となる曲をトレーニングする。 )		
12	演習	Slapトレーニング ( Slap奏法をトレーニングする。 )		
13	演習	前期のまとめ		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	前回授業の内容を復習。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1. 実技試験 100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			パフォーマンス	
科目名	Bassグループ		担当教員名	岡本陽一
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	432教室
授業の到達目標				
ベース楽器の技術習得。安定したリズムの習得。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する主にリズム譜をもちいたエクササイズを通し、リズムの強化を行う。				
【実務経験】大阪スクールオブミュージック専門学校卒業後、LosAngels Music Academyへ入学。2年間のプログラムを履修し卒業。2002年帰国後はOSMプロミュージシャン科ベースコースの講師に就任。その後東京へ拠点を移し様々なアーティストのサポートやライブ演出などを経験。現在は大阪府堺市にて音楽制作会社を立ち上げ、音楽制作やライブ演出などを行っている。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	リズム譜の読み方		
2	演習	全音符、二分音符、四分音符、休符エクササイズ		
3	演習	八分音符、休符エクササイズ		
4	演習	付点四分音符エクササイズ		
5	演習	八分音符シンコペーションエクササイズ		
6	演習	十六分音符、付点八分音符、休符エクササイズ		
7	演習	十六分音符シンコペーションエクササイズ		
8	演習	習得した全ての音符、休符を用いた用いたエクササイズ		
9	演習	復習		
10	演習	コード進行を用いてのリズムエクササイズ		
11	演習	メジャースケールを用いたリズムエクササイズ		
12	演習	総合エクササイズ		
13	演習	実力テスト		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	読譜力 記譜力 運指練習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			パフォーマンス	
科目名	ファンデーションDr		担当教員名	杉山聡信
時間	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	EN231
授業の到達目標				
ドラムを通して様々なリズムに触れ、仕組みを理解し、実際にドラムセットに触れて演奏してみることで、音楽力・リズム力の向上を目指し自身の本来のパートを強化することが目標である。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 毎授業ごとに変わる課題曲を用いて演奏に必要なリズムパターンを学習。ジャンル毎に必要なフレージングを覚え実際にドラムセットを使い演奏し習得する。				
【実務経験】2006年OSMを卒業後、自身のバンドでCDデビュー。バンド活動と共にシンガーソングライターのバックバンドも数多く担い現在プロ活動14年目を迎え、メジャーでは主にavexやよしもとクリエイティブエージェンシーのアーティストの他、FM802や吉本興業の芸人のバックバンドも務めている。吉本新喜劇の内場勝則座長のミュージカルでのドラム演奏指導などレッスン業も行っている。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
2	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
3	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
4	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
5	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
6	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
7	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
8	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
9	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
10	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
11	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
12	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
13	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	ドラムは同じパターンでできあがっている部分が大いにあり、何度も同じ動きを繰り返して慣れることが重要です。毎回紹介されるリズムパターンを繰り返し慣れるまで練習してきてください。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	授業内評価 100%		
教材	教科書			
	参考書	随時配布、譜面、音資料		

## スーパーeエンターテイメント科昼間 I 部 シラバス

授業科目			パフォーマンス	
科目名	Drグループ		担当教員名	戸谷 太郎
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	EN231
授業の到達目標				
<p>ドラマでグループを作るために必要な知識と体をコントロールする為の基礎練習が最大の目標となる。スタンダードなリズムパターンやフィールを知り習得する。</p>				
授業の内容				
<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する  講師が現行の現場での経験を元にその手法や知識を紹介し、それに必要な技術をスタンダードなリズムパターンを使い学んでいく。リズム感は勿論ビート感やそれに対する考え方、イメージ通りに演奏する為のトレーニング方法、考え方、自己修正などが出来るようになる。</p> <p>【実務経験】 韻シストのdrummerとして数々の作品に参加し(Chara、嵐、PUSHIM、他)また数々のフェス(ROCK IN JAPAN FESTIVAL、COUNTDOWN JAPAN、SUNSET LIVE、頂-ITADAKI 他)にも出演し自身らが手掛けるフェス《OSAKA GOOD VIBES》も大成功させる</p>				
回数	授業形態	内容		
1	演習	リズム譜読み方 スティックコントロール メトロノームの使い方①		
2	演習	基本的な8ビートのパターン実践 リズムトレーニング		
3	演習	基本的な8ビートのフィルイン実践 リズムトレーニング		
4	演習	基本的な8ビートのパターン、フィルイン実践② リズムトレーニング		
5	演習	メトロノームの使い方② リズムトレーニング		
6	演習	リズムトレーニング応用①(付点四分音符) リズムチェンジ		
7	演習	基本的な16ビートのパターン実践 リズムトレーニング		
8	演習	基本的な16ビートのフィルイン実践 リズムトレーニング		
9	演習	リズムトレーニング応用②(付点八分音符)		
10	演習	基本的な16ビートのパターン、フィルイン実践② リズムトレーニング		
11	演習	基本的な16ビート(bounce)のパターン実践		
12	演習	手足のコンビネーション系フレーズ実践 リズムトレーニング		
13	演習	手足のコンビネーション系フレーズ実践② リズムトレーニング		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	読譜力 記譜力 スティックコントロール			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技 40% 出席率 60%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間 I 部 シラバス

授業科目			パフォーマンス	
科目名	Gtメロディック		担当教員名	引田 寿徳
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	EN632
授業の到達目標				
ギター演奏に必要なスケールやテクニックをマスターする。様々なコード進行に対応するメロディーセンスを学ぶ。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
パターン化されたコード進行を使って、スケールやテクニック使ってメロディーを作る。ソロもとれる様にする。				
【実務経験】 OSM卒業後、LAに移住。David Lee Roth Bandに加入。Hideous Sun Demonsで全米デビュー。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	スケール #1の使い方		
2	演習	スケール #2の使い方		
3	演習	スケール #1の応用		
4	演習	スケール #2の応用		
5	演習	スケール #1、スケール #2を使ったコード進行		
6	演習	スケール #1、スケール #2を使った応用テクニック		
7	演習	スケール #3の使い方		
8	演習	スケール #3の応用		
9	演習	スケール #4の使い方		
10	演習	スケール #4の応用		
11	演習	スケール #3、スケール #4を使ったコード進行		
12	演習	スケール #3、スケール #4を使った応用テクニック		
13	演習	テスト週		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習				
前単元までの復習 自主練習				
成績評価		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%	
教材	教科書			
	参考書			



## スーパーeエンターテイメント科昼間 I 部 シラバス

授業科目			コンポジション	
科目名	作曲技法1		担当教員名	小林 哲
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	803
授業の到達目標				
読譜能力、基礎理論の習得。自作曲への応用。				
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
<p>曲作りにダイレクトに活用、応用できるポピュラー音楽理論の習得。（音名～Scale、Interval）</p> <p>【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。</p>				
回数	授業形態	内容		
1	演習	音名、音部記号の学習		
2	演習	派生音、音休符の種類		
3	演習	拍子		
4	演習	速度記号、反復記号		
5	演習	略記号、奏法記号、装飾記号、強弱記号		
6	演習	Major Scale		
7	演習	Major Scale、5度圏、調号		
8	演習	導音、Natural Minor Scale		
9	演習	Harmonic Minor Scale、Melodic Minor Scale		
10	演習	Scaleまとめ、Interval		
11	演習	Interval、複音程		
12	演習	総復習		
13	演習	前期内容について、筆記試験		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	講義内容を音でも確認する。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	2、筆記試験 100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間 I 部 シラバス

授業科目			コンポジション	
科目名	作曲技法2		担当教員名	小林 哲
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修	教室	803
授業の到達目標	読譜能力、基礎理論の習得。自作曲への応用。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 曲作りにダイレクトに活用、応用できるポピュラー音楽理論の習得。(音名～Scale、Interval) 【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	基礎理論の学習		
2	演習	基礎理論の学習		
3	演習	基礎理論の学習		
4	演習	基礎理論の学習		
5	演習	基礎理論の学習		
6	演習	基礎理論の学習		
7	演習	基礎理論の学習		
8	演習	既存曲を分析し、効果的なDiatonic Chordの使い方を学ぶ		
9	演習	既存曲を分析し、効果的なDiatonic Chordの使い方を学ぶ		
10	演習	基礎理論の学習		
11	演習	基礎理論の学習		
12	演習	後期内容の復習		
13	演習	後期内容についてのレポート作成		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	講義内容を音でも確認する。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	2、筆記試験 100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目		コンポジション	
科目名	作詞技法2	担当教員名	木下 智哉
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	601		
作詞に関する基礎知識の習得。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
作詞のベーシックを覚える。作詞の制作行程を段階にわけて学ぶ。言葉探しの技を学ぶ。			
【実務経験】作詞・作曲・編曲・サウンドプロデューサー／SCOOP MUSIC所属。／2000年、エレポップ三人組ユニット「epidemic」でポニーキャニオンからデビュー。5年に及ぶユニット活動休止後、作家として活動を開始。関西を拠点に作詞、作曲、プロデュース等を手がける。／浜崎あゆみ、中川翔子、V6、NEWS、HeySayJump、AAA等の数々のアーティストへの楽曲提供やアニメの音楽制作などを手がける。			
日程	授業形態	内容	
1	演習	作詞技法.10/ジャンル別による表現法/ラップ、韻について/韻化トレーニング	
2	演習	韻化トレーニング/Rap詞制作	
3	演習	Rap詞制作/添削 /感想の書き合い	
4	演習	作詞技法.11/童謡、キッズソングに見る作詞法	
5	演習	キッズソング作成トレーニング	
6	演習	作詞技法.12/英語詞と日本語詞を混ぜたハイブリッド作詞法	
7	演習	ハイブリッド作詞トレーニング1 コーラス、字数の確認	
8	演習	作詞技法.13/CMソングに見る作詞法 /CMソング作成トレーニング	
9	演習	CMソング作成トレーニング/添削&提出	
10	演習	OUTPUTレビュー.2 /価値観アンケート	
11	演習	作詞実践.3 /フルコーラス制作	
12	演習	作詞実践.3 /フルコーラス制作 /添削 /感想の書き合い	
13	演習	作詞技法まとめトレーニング集	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	課題制作用に渡されたデータを整理し、授業外の時間で積極的に復習に使用する		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3. 課題100%	
教材	教科書	授業時に配布するプリント各種。	
	参考書	なし	

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目		コンポジション		
科目名	マニピュレーション2	担当教員名	西田 和史	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	606
授業の到達目標				
サウンドクオリティーのアップ。様々な音楽スタイルをマスターし作曲に応用できるようになる。またその為に必要な機材やソフトを選びコントロールできるようになる。音色だけでなく、音質や空間コントロールの表現を作品制作に取り入れられるようになる。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する時代やジャンルによる、音の違いを学び、それを再現する。そのための各機材のコントロール方法マスターする。また様々な音響特性を再現することで、聴く力を高める。				
【実務経験】1994年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。劇団神戸及び、スタジオアクアにてマニピュレーター、エンジニアとして活動。2000年よりPowerFXなど海外サウンドデベロッパーに数多くのサウンドを提供。グリッチ、アンビエント系サウンドを得意とするクリエイター。1996年よりインストラクターとしても活動。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	機材・ソフトの性能を引き出す。レコーディング機材、ソフトについて。		
2	演習	アレンジや作品の方向性を理解し、良い音について考える。サウンド分析。		
3	演習	ジャンル・時代・地域によるサウンドの違いと変化を再現する。ピンテージ系。		
4	演習	ジャンル・時代・地域によるサウンドの違いと変化を再現する。ベースミュージック系。		
5	演習	ポストプロダクションの実践。様々なサウンドを組み合わせ、新たなサウンドを構築する。		
6	演習	ドラム&ベースによる楽曲のコントロール。音源のクオリティーとは？		
7	演習	Kickの研究。音源、エフェクターの実践。		
8	演習	リミックス作品制作を通して、ミキシングによるサウンドコントロールスキルアップ。		
9	演習	リミックス作品制作を通して、グループコントロールのスキルアップ。		
10	演習	様々なシンセサイザーの特性を理解しコントロールする。ウェーブテーブル、FMなど。		
11	演習	個体差を含めたエフェクターの詳細（コンプレッサー、イコライザー等）		
12	演習	音響作品の制作を通して、空間と時間的なサウンドの変化コントロールする。		
13	演習	音響作品の制作を通して、エフェクターの詳細を理解し、実践する。		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	オリジナル曲・講義内容を取り入れた練習曲制作			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3.課題 100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間 I 部 シラバス

授業科目			コンポジション	
科目名	ミキシング2		担当教員名	西田 和史
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	606
授業の到達目標				
サウンドクオリティのアップ。様々な音楽スタイルをマスターし作曲に応用できるようになる。またその為に必要な機材やソフトを選びコントロールできるようになる。音色だけでなく、音質や空間コントロールの表現を作品制作に取り入れられるようになる。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する時代やジャンルによる、音の違いを学び、それを再現する。そのための各機材のコントロール方法マスターする。また様々な音響特性を再現することで、聴く力を高める。				
【実務経験】1994年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。劇団神戸及び、スタジオアクアにてマニピュレーター、エンジニアとして活動。2000年よりPowerFXなど海外サウンドデベロッパーに数多くのサウンドを提供。グリッチ、アンビエント系サウンドを得意とするクリエイター。1996年よりインストラクターとしても活動。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	復習・自己作品の分析。課題への取り組みと、スキルアップのポイントを探る。		
2	演習	様々なアナログシンセ、アナログエミュレーションシンセの音色特性を分析・理解し、効果的に使用する。シンセパラメータの復習。		
3	演習	実践的なパラメーターコントロール。モジュレーション、ルーティング。複雑なシンセを使いこなす。		
4	演習	FM音源について。特性と音色加工。実践での使用法。		
5	演習	リミックスを通して、様々な音質をもつサウンドの組み合わせ方をマスターする。時代差・機材差を効果的に利用する。		
6	演習	リミックスを通して、様々な音質をもつサウンドの組み合わせ方をマスターする。時代差・機材差を効果的に利用する。		
7	演習	バンドサウンドとシンセサウンドのコンビネーション。		
8	演習	空間の再現・コントロールを利用した表現。各種FXの応用。		
9	演習	アコースティックサウンドの扱いと様々な使用法。		
10	演習	録音・マイクアレンジでの音質・音色コントロール。作曲への使用。		
11	演習	ノンエフェクトでの作品制作。演奏・空間・ノイズによるサウンドメイク。		
12	演習	オリジナル曲の表現・演出をデフォルメしてみる。作曲の魅力をもっと知る。		
13	演習	作曲を素材としてダンスまたはコラージュ系のリミックスを作る。音を客観的に分析する。		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	オリジナル曲・講義内容を取り入れた練習曲制作			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3.課題 100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間 I 部 シラバス

授業科目		ステージ/イベント	
科目名	PAファンダメンタル	担当教員名	伊東 次郎
時間数	120	必修	配当年次
曜日・時限		教室	9F Shooting Stage
授業の到達目標			
音響の基礎知識を中心にPA機材の正しい操作、結線及びセッティングを習得する。			
授業の内容			
講義を中心としながらも 実際に機材を使用して より知識、操作方法等が身に付くよう行う。			
【実務経験】			
アスカサウンド代表として関西のイベント、コンサートを手掛ける。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	PAとは (PAの種類、役割、仕事内容等)	
2	演習	音とは何か (音速、音の三要素)	
3	演習	ケーブルについて (コネクタの種類、バランス・アンバランス)	
4	演習	マイクロフォンについて (構造、性質)	
5	演習	ミキシング・コンソールについて I (ブロックダイアグラムや操作)	
6	演習	ミキシング・コンソールについて II (ブロックダイアグラムや操作)	
7	演習	パワーアンプについて (入力、出力、消費電力等)	
8	演習	スピーカーについて (構造、性質、エンクロージャー)	
9	演習	電気音響の基礎 (アンプとスピーカーの接続)	
10	演習	電気音響の基礎 (アンプとスピーカーの接続)	
11	演習	イコライザーについて (性質と操作方法)	
12	演習	イコライザーについて (性質と操作方法)	
13	演習	エフェクターについて I (リバーブ、ディレイ)	
14	演習	エフェクターについて II (コンプ、ゲート)	
15	演習	音響システムを使った実演	
準備学習 時間外学習	「PA入門 改訂版」「音響映像設備マニュアル 2019年改訂版」を活用して予習復習しましょう		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	2) 筆記試験 100%	
教材	教科書		
	参考書		

## スーパーeエンターテイメント科昼間 I 部 シラバス

授業科目			ステージ/イベント	
科目名	PAファンダメンタル		担当教員名	伊東 次郎
時間数	120	必修	配当年次	2年次 後期
曜日・時限			教室	9F Shooting Stage
授業の到達目標	前期習得した基礎知識をベースに音響プランニングからシステムセッティング及び調整が出来るようになる。			
授業の内容	単に機材を触るだけで無く PA業務を行う上での考え方 方法論も合わせて身に付くように 考える授業を行います。 【実務経験】 アスカサウンド代表として関西のイベント、コンサートを手掛ける。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	音響システムプラン (INPUT・ブロックダイアグラム・機材リスト)		
2	演習	デジタルミキサーの使用法 1		
3	演習	デジタルミキサーの使用法 2		
4	演習	システムのセッティング 1		
5	演習	システムのセッティング 2		
6	演習	海外研修		
7	演習	システムのレベル設定		
8	演習	システムの調整 1		
9	演習	システムの調整 2		
10	演習	モニター分岐 1		
11	演習	モニター分岐 2		
12	演習	トラブルシューティング		
13	演習	後期試験		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業で習った内容 特に新しい事は必ず復習して身に付けるようにして下さい			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験50% 課題50%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目		ステージ/イベント	
科目名	照明概論1	担当教員名	徳永 好郎
時間数	30 必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限	必修	教室	805教室
授業の到達目標	舞台照明に必要な電気理論および、舞台照明設備を理解する。		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する現場で即戦力となる為の舞台照明基礎知識・機材知識を身に付ける。</p> <p>【実務経験】昭和49年より音響業務に携わる。昭和54年、舞台・音響・照明の三業種の重要性を感じ大和ステージサービス設立。以来、市民会館の管理業務などに従事。昭和59年株式会社ディースタッフ設立。天王寺博のテクニカルディレクターを務める。現在はよしもとブロードエンターテイメント所属。</p>		
回数	授業形態	内容	
1	演習	機材知識(構造・種類・用途について) / 器具の構造、取り扱いを理解する	
2	演習	電気知識(電圧・電流・抵抗の関係) / オームの法則などの計算式	
3	演習	機材知識(電気容量及び電流・抵抗) / 電気容量に対しての電流などの関係	
4	演習	機材知識(LEDについて) / 通常の照明器具とLED機器との違いを理解する	
5	演習	電気知識(電気容量・I) / 器具などでの容量について理解する	
6	演習	照明設備(フライダクトの構造・用途) / 複数の電気回路の構造	
7	演習	電気知識(電気容量・II) / I回路での容量に対して電流の関係	
8	演習	照明設備(フライダクトの回路取り) / 机上での負荷回路の結線	
9	演習	電気知識(許容電流について) / 電線(ケーブル)と電流値の関係	
10	演習	照明設備(ケーブル・コネクタ) / (ケーブル・コネクタ)と電流値の関係	
11	演習	電気知識(直流・単相交流・三相交流) / 照明用電源について・機器制御電源について	
12	演習	照明設備(フロント) / 舞台前での照明設備について	
13	演習	照明設備(シーリング) / 舞台前での照明設備について	
14	演習	電気知識(電源について) / 照明用電源について	
15	演習	電気知識(電源について) / 照明用電源について	
準備学習 時間外学習	授業ノートの見直し、該当箇所の教科書を読んでから出席		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験(50%) 出席率(30%) 授業態度(20%)	
教材	教科書	舞台テレビジョン照明の知識編及び技能編	
	参考書	舞台・テレビジョン照明(基礎編)	



## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目		ステージ/イベント	
科目名	照明概論2	担当教員名	徳永 好郎
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	805教室		
授業の内容	<p>舞台照明に必要な電気理論および、舞台照明設備を理解する。</p> <p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する現場で即戦力となる為の舞台照明基礎知識・機材知識を身に付ける。</p> <p>【実務経験】昭和49年より音響業務に携わる。昭和54年、舞台・音響・照明の三業種の重要性を感じ大和ステージサービス設立。以来、市民会館の管理業務などに従事。昭和59年株式会社ディースタッフ設立。天王寺博のテクニカルディレクターを務める。現在はよしもとブロードエンターテイメント所属。</p>		
回数	授業形態	内容	
1	演習	照明設備（ホリゾントライト・フロア）	
2	演習	電気知識（電源の種類・用途について）	
3	演習	照明設備（調光器及び調光の仕方）	
4	演習	電気知識（電源と調光器について）	
5	演習	照明設備（調光設備について）	
6	演習	電気知識（調光ユニットの電源）	
7	演習	照明設備（負荷選択機構について）	
8	演習	照明設備（調光操作卓について）	
9	演習	照明設備（仮設照明設備について）	
10	演習	電気知識（電気事故・トラブル）	
11	演習	調光制御回路（DMXラインについて）	
12	演習	電気知識（トラブルなどの原因・対処）	
13	演習	電気知識（トラブルなどの原因・対処）	
14	演習	照明安全作業（安全管理などについて）	
15	演習	照明安全作業（安全管理などについて）	
準備学習 時間外学習	授業ノートの見直し、該当箇所の教科書を読んでから出席		
成績評価	1. 実技試験（%） 2. 筆記試験（%） 3. 課題（%）	筆記試験（50%） 出席率(30%) 授業態度(20%)	
教材	教科書	舞台テレビジョン照明の知識編及び技能編	
	参考書	舞台・テレビジョン照明(基礎編)	

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			エンジニアリング	
科目名	RECベーシック1		担当教員名	北畑 俊明
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	403
授業の到達目標	レコーディングエンジニアとして必要とされる知識、オペレーション能力、コミュニケーション能力の習得。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 座学による音響機器の仕組み、機能、使用方法、音響学及び、スタジオ実習による 実践的オペレーション、実験、研究等から総合的にレコーディングエンジニアの基礎を習得していく。 <b>【実務経験】</b> 大学卒業後、ドラマー、PAエンジニアの仕事につく。後にアルケミースタジオを設立。以後、レコーディングエンジニアを主に、レコーディングエンジニア、マスタリングエンジニア、PAエンジニア、ドラマーとして活動。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	レコーディングエンジニアの仕事について。		
2	演習	スタジオの機材の役割、機能、接続、信号の流れ		
3	演習	ミキシングコンソールについて。概要		
4	演習	ミキシングコンソールについて。ルーチングマトリクス		
5	演習	アナログ、デジタルについて/録音機器について		
6	演習	DAWの概要、仕組み、周辺機器について		
7	演習	マイクロフォンの構造、種類、仕組みについて、		
8	演習	マイクロフォンの分類、マイクアレンジ、ステレオマイク、マルチマイクについて		
9	演習	スピーカー、パワーアンプ、モニタースピーカーについて		
10	演習	ケーブル、コネクタ、パッチベイについて		
11	演習	レコーディングプラン、マイクスタンドの取り扱い、セッティング、		
12	演習	ミキシングコンソール、システム構築、ステータス、ルーチングについて		
13	演習	Pro Tools セッション構築		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	音楽鑑賞、コンサート、ライブ鑑賞			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	前期:筆記試験(100%) 後期:実技試験(100%)		
教材	教科書	音響設備マニュアル		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			エンジニアリング	
科目名	RECアドバンス		担当教員名	北畑 俊明
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修	教室	403
授業の到達目標	レコーディングエンジニアとして必要とされる知識、オペレーション能力、コミュニケーション能力の習得。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>座学による音響機器の仕組み、機能、使用方法、音響学及び、スタジオ実習による</p> <p>実践的オペレーション、実験、研究等から総合的にレコーディングエンジニアの基礎を習得していく。</p> <p>【実務経験】大学卒業後、ドラマー、PAエンジニアの仕事につく。後にアルケミースタジオを設立。以後、レコーディングエンジニアを主に、レコーディングエンジニア、マスタリングエンジニア、PAエンジニア、ドラマーとして活動。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	レコーディングスタジオのシステム1		
2	演習	レコーディングスタジオのシステム2		
3	演習	デジタル機器について		
4	演習	コネクタ、ケーブル、パッチベイについて/ ケーブル作成		
5	演習	音について1		
6	演習	音について2		
7	演習	マイクロフォンについて2		
8	演習	モノラル、ステレオ、マルチマイクについて		
9	演習	マイクアレンジ1		
10	演習	マイクアレンジ2		
11	演習	ミキシングについて		
12	演習	ミキシングについて		
13	演習	総括		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	音楽鑑賞、コンサート、ライブ鑑賞			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	前期: 筆記試験(100%) 後期: 実技試験(100%)		
教材	教科書	音響設備マニュアル		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間 I 部 シラバス

授業科目			エンジニアリング	
科目名	Pro Tools 2		担当教員名	福岡 直子
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	501
授業の到達目標	Pro Toolsの基本操作をもとに、周辺機器のセットアップ、データ管理のスキルアップ			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する音楽制作における「DAW」。そのシステムで使用されるアプリケーションの一つである「Pro Tools」を中心に、付随する周辺機器、関連アプリケーション、ファイル管理(マスターデータ、納品方法など)システム構築の概要を習得。</p> <p>【実務経験】2000年大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、VISTA STUDIOに2年勤務、2002年からアルケミースタジオに所属。サウンドエンジニアとして様々なアーティストのレコーディング、ミックス、マスタリングを手掛ける。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ファイル管理(階層構造の再確認)。マスター(オリジナル)データとバックアップデータについて学ぶ。		
2	演習	ハードウェアやI/O設定(仕組み、新規作成、設定のインポート/エクスポート)を学ぶ。		
3	演習	音声ファイル形式(応用)。セッションの保存(応用)データの取り扱い(セッション内 削除と消去)		
4	演習	同期(LTC、MTC)、クロックリファレンスとクロックソース		
5	演習	MIDI、インストゥルメントについて 1		
6	演習	MIDI、インストゥルメントについて 2		
7	演習	コントローラーの設定と操作		
8	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 1		
9	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 2		
10	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 3		
11	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 4		
12	演習	筆記テスト、解答解説		
13	演習	後期総復習		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業や個人的にPro Toolsを使用して疑問に思ったことをメモ。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	2. 筆記テスト 100%		
教材	教科書			
	参考書	音響設備マニュアルなど		

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			音楽ビジネス	
科目名	イベントデザイン1		担当教員名	檜原・山之口・山田
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限			教室	707教室
授業の到達目標				
履修者全員で取り組むイベントを理解し、実際に関わるために必要なスキルを習得する。(書類制作、段取りの組み方などのスキルの習得。) イベントやライブの基礎を学び、イベントが出来上がるまでの大きな流れと、難しさ、面白さを理解する。				
授業の内容				
イベントの制作過程に合わせて、その際に必要な情報やスキルを、講義形式で学ぶ。 (制作過程により、授業内容の前後の変更、内容の変更、追加なども行います)				
【実務経験】檜原：イベント関係全般(皇室行事・式典・音楽・販促・集客・管理等)の制作・進行・運営のあらゆるシーンに従事。山之口：プロダクションでのマネージメント、大型フェス・ファッションショーでの制作業務に従事。山田：イベント制作会社にて企画、制作、運営、営業を約7年従事。現在はフリーイベントディレクターとして活動中。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	イベント制作の基礎知識① (イベントを作る工程や役割を理解する)		
2	演習	ビジネスマナーを学ぶ		
3	演習	イベント企画① (アイデアの出し方を学ぶ)		
4	演習	イベント企画② (企画のまとめ方、企画書の作り方を学ぶ)		
5	演習	イベント制作の基礎知識② (実施マニュアルの作り方を学ぶ)		
6	演習	※イベント (学園祭) 直前の為、1~2コマすべて実務作業予定		
7	演習	※イベント (学園祭) 直前の為、1~3コマすべて実務作業予定		
8	演習	イベント制作の基礎知識④ (実施報告書のまとめ方を学ぶ)		
9	演習	イベント制作の基礎知識⑤ (制作スケジュールについて、作成方法、必要性を学ぶ)		
10	演習	チームとは		
11	演習	イベント実施に向けての下準備を行う		
12	演習	※筆記テスト予定		
13	演習	※イベント制作過程により調整		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習				
成績評価		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1. 実技試験 70% (実際の作成資料の仕上がりなどを考慮予定) 2. 筆記試験 30%	
教材	教科書	適宜、必要資料の配布		
	参考書	//		

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			音楽ビジネス	
科目名	イベントデザイン2		担当教員名	檜原・山之口・山田（睦）
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限			教室	701・702・703教室
授業の到達目標				
履修者全員で取り組むイベントについてを理解し、実際に関わるために必要なスキルを習得することを目指します。（書類制作、段取りの組み方などのスキルについて）イベントやライブが出来上がるまでの大きな流れと、難しさ、面白さを理解し実際に企画、制作、運営ができるようになることを目指します。				
授業の内容				
イベント【WeareOSM,DA,高等専修学校】の制作過程に合わせて、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義と実務を行います。（制作過程において、授業内容の前後、変更、追加なども行う場合があります）				
【実務経験】 檜原：イベント関係全般（皇室行事・式典・音楽・販促・集客・管理等）の制作・進行・運営のあらゆるシーンに従事。山之口：プロダクションでのマネージメント、大型フェス・ファッションショーでの制作業務に従事。山田：イベント制作会社にて企画、制作、運営、営業を約7年従事。現在はフリーイベントディレクターとして活動中。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	アイデアラッシュと企画を立案するために「アイデア&リサーチ」の方法について講義		
2	演習	実際にアイデアを書類へまとめる。企画書の作り方の講義		
3	演習	収支を含む必要経費などを算出、概算予算書の作成についての講義		
4	演習	企画内容をプレゼンテーションするための準備とプレゼンの方法について講義		
5	演習	授業内プレゼンテーション（1）及び【イベントにおける法律についての講義①】		
6	演習	授業内プレゼンテーション（2）及び【イベントにおける法律についての講義②】		
7	演習	広告&マーケティング		
8	演習	「制作スケジュール」の作成方法についての復習とさらに細かい内容についての講義		
9	演習	進行表		
10	演習	ディレクションするにあたっての危機管理		
11	演習	「実施マニュアル」の作成方法についての復習と細かい内容についての講義		
12	演習	座学筆記テスト		
13	演習	総括		
14	演習	WeareOSM/DA の制作実務		
15	演習	WeareOSM/DA の制作実務		
準備学習 時間外学習	関わるイベントの情報を収集、理解し、前週の課題を次週へ向けて仕上げる。そのために、書類の作成、チームミーティングなどを必要な準備を行ってください。			
成績評価	1. 実技試験（％） 2. 筆記試験（％） 3. 課題（％）	1. 実技試験 70％（作成資料の仕上がりなどを考慮する） 2. 筆記試験 30％		
教材	教科書	適宜、必要資料の配布		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			音楽ビジネス	
科目名	コミュニケーションベーシック2	担当教員名	北林 圭	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限			教室	701・702教室
授業の到達目標				
<p>大人数の前で、自分の考え・意見・想いを、明確に伝えることができるようになる。</p> <p>人の良いところ、魅力を見つけ、その人に言葉で明確に伝えることができるようになる。</p> <p>人から伝えられた自分の良いところ、魅力を素直に受け入れる。</p>				
授業の内容 ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
1対1での会話、1対多数での会話・主張を実践。プレゼンテーションを中心に、人前で自分の考えや想いを伝える練習。授業を通して、自分や周りのクラスメイトの新たな魅力を発見する。				
【実務経験】				
OSM卒業生。産業カウンセラー歴4年。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	前期の振り返り、授業目標の再確認、プレゼンテーションの説明		
2	演習	プレゼンテーション① テーマ：私の愛情・情熱・想いを込めたプレゼンテーション		
3	演習	プレゼンテーション② テーマ：私の愛情・情熱・想いを込めたプレゼンテーション		
4	演習	プレゼンテーション③ テーマ：私の愛情・情熱・想いを込めたプレゼンテーション		
5	演習	プレゼンテーション④ テーマ：私の愛情・情熱・想いを込めたプレゼンテーション		
6	演習	プレゼンテーション⑤ テーマ：私の愛情・情熱・想いを込めたプレゼンテーション		
7	演習	プレゼンテーション⑥ テーマ：私の愛情・情熱・想いを込めたプレゼンテーション		
8	演習	プレゼンテーション⑦ テーマ：私の愛情・情熱・想いを込めたプレゼンテーション		
9	演習	プレゼンテーション⑧ テーマ：私の愛情・情熱・想いを込めたプレゼンテーション		
10	演習	プレゼンテーション⑨ テーマ：私の愛情・情熱・想いを込めたプレゼンテーション		
11	演習	プレゼンテーション⑩ テーマ：私の愛情・情熱・想いを込めたプレゼンテーション		
12	演習	プレゼンテーション⑪ テーマ：私の愛情・情熱・想いを込めたプレゼンテーション		
13	演習	1年間の振り返り・総括・締め		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	日常の生活で、あいさつ・気遣い・掃除を率先的に行動に起こしましょう！			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%。		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			ESL	
授業名	ESL III		担当教員名	ジェフリー バーネット
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	803
授業の到達目標	様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。				
<b>【実務経験】</b>				
2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり				
回数	授業形態	内容		
1	講義	オリエンテーション		
2	講義	・トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。		
3	講義	・観光ツアーの予約をする。		
4	講義	・数字、序数を使い分ける。		
5	講義	・月、曜日、時間を表現する。		
6	講義	・郵便局で切手を買う。		
7	講義	・機能表現[希望伝達][提案]を習得し、会話する。		
8	講義	・トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。		
9	講義	・トラベラーズチェックを両替する。		
10	講義	・とっさに出る言葉を表現する。		
11	講義	・観光案内所で道を尋ねる。		
12	講義	・機能表現[行先質問][所要時間]を習得し、会話する。		
13	講義	総復習		
14	講義	本試験		
15	講義	試験返却、解説、ポストテスト		
準備学習 時間外学習	授業では配布したプリントを復習しておきましょう。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験100%		
教材	教科書			
	参考書			



## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			ESL	
授業名	ESL IV		担当教員名	ジェフリー バーネット
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修	教室	803
授業の到達目標	様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。				
【実務経験】				
2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり				
回数	授業形態	内容		
1	講義	オリエンテーション		
2	講義	・さまざまな電話表現を理解する。		
3	講義	・電話による会話をする。		
4	講義	・ファーストフード店で注文をする。		
5	講義	・機能表現[注文][料金質問]を習得し、会話する。		
6	講義	・トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。		
7	講義	・レストランの予約をする。		
8	講義	・英文の手紙を書く。		
9	講義	・英文のEメールを書く。		
10	講義	・買い物をする。		
11	講義	総復習		
12	講義	総復習		
13	講義	総復習		
14	講義	本試験		
15	講義	試験返却、解説、ポストテスト		
準備学習 時間外学習	授業では配布したプリントを復習しておきましょう。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目		パフォーマンスプロジェクト		
科目名	バンドアンサンブル2	担当教員名	津原順一	
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修選択	教室	EN431・631・632
授業の到達目標				
1：ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する 2：学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力の概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3：それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4：外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5：全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る				
授業の内容				
アナライズ授業において、各課題曲を用い音楽的な時代背景、ジャンルやボーカリストの特徴、テクニックやポイントなどを講義、演習により学習。アンサンブル授業にて、各パートとの即興バンドにて実践を行う。				
講師実務経歴：93年結成GERAL DINEにて95年NHKの音楽コンテストにて優勝、96年も出場-解散。97年結成CAMDEN LOCKがテレビ朝日系音楽オーディションに合格したのをきっかけに番組で取り上げられインディーズバンドながらも関西、近畿圏と人気を博し、関東、全国、メジャーシーンへと活躍。アルバム2枚、ライブCD1枚をリリース。99年解散。以後、バンドボーカル、シンガーソングライターとして活動。インディーズレーベル事務所を立ち上げ、若手バンド、アーティストの育成なども行う。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	課題曲1によるリズム、ダイナミクスを体感し、歌い方や表現を実践する。		
2	演習	課題曲2によるリズム、ダイナミクスを体感し、歌い方や表現を実践する。		
3	演習	課題曲1,2の復習により、バンドアンサンブルと歌唱・表現力を習得する。		
4	演習	課題曲3によるリズム、ダイナミクスを体感し、歌い方や表現を実践する。		
5	演習	課題曲4によるリズム、ダイナミクスを体感し、歌い方や表現を実践する。		
6	演習	課題曲3,4の復習により、バンドアンサンブルと歌唱・表現力を習得する。		
7	演習	課題曲5によるリズム、ダイナミクスを体感し、歌い方や表現を実践する。		
8	演習	課題曲6によるリズム、ダイナミクスを体感し、歌い方や表現を実践する。		
9	演習	課題曲5,6の復習により、バンドアンサンブルと歌唱・表現力を習得する。		
10	演習	課題曲7によるリズム、ダイナミクスを体感し、歌い方や表現を実践する。		
11	演習	課題曲8によるリズム、ダイナミクスを体感し、歌い方や表現を実践する。		
12	演習	課題曲7,8の復習により、バンドアンサンブルと歌唱・表現力を習得する。		
13	演習	イベントに向けた総復習により全ての課題曲のバンドアンサンブルと歌唱・表現力を習得する。		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	毎週アップされる課題曲をしっかりと視聴。英語のメロディーやジャンルのリズムや音作りを頭と体に入れる。英語詩をカタカナに直すなど自分なりに攻略。日本語による歌詞の意味や当時のアーティストの活躍、歴史などを事前に調べておく事。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	授業内評価 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	随時配布 (歌詞、音資料、譜面など)		

## スーパーeエンターテイメント科昼間 I 部 シラバス

授業科目		コンポジションプロジェクト		
科目名	楽曲提供2	担当教員名	西田 和史	
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修	教室	605・606・501
授業の到達目標				
自分自身のスタイルを確立するとともに、様々な企画に対応できるよう表現の幅を広げる。世の中での自分の曲のポジション（クオリティー、ポピュラリティー、ジャンル、イメージなど）を知る。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
企業課題（CM音楽、映画音楽、アイドル、バンド、イベント音楽など）に取り組み、仕事における楽曲制作のノウハウを学ぶ。また自身の活動方針にあったプロモーションツールを作成する。 <b>【実務経験】</b> 1994年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。劇団神戸及び、スタジオアクアにてマニピュレーター、エンジニアとして活動。2000年よりPowerFXなど海外サウンドデベロッパーに数多くのサウンドを提供。グリッチ、アンビエント系サウンドを得意とするクリエイター。1996年よりインストラクターとしても活動。				
回数	授業形態	内容		
1	実習	様々な企業課題のプレゼンテーション		
2	実習	自身が参加している企画・課題の制作スケジュールを作る		
3	実習	制作スケジュールを実現するための自身の行動計画を練る①		
4	実習	制作スケジュールを実現するための自身の行動計画を練る②		
5	実習	（これまでの学習知識の実作業への応用）		
6	実習	新知識の獲得		
7	実習	自身での勉強法の獲得		
8	実習	企画・プロデュースカアップ		
9	実習	プロモーションカアップ		
10	実習	コンセプトに沿った楽曲制作力①		
11	実習	コンセプトに沿った楽曲制作力②		
12	実習	コンセプトに沿った楽曲制作力③		
13	実習	自身の今後の課題と制作・学習プランの確認		
14	実習	ワークショップ		
15	実習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	全ての課題に締め切りが設定されますので、事業時間外での制作が必須となります。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3.課題 100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			ステージ/イベントプロジェクト	
科目名	ステージワーク2		担当教員名	澤田真一
時間数	120	必修	配当年次	2年次 後期
曜日・時限			教室	LS-1
授業の到達目標				
PAにより興味を持たせ、スキルアップ、その先の就職へと繋ぐことを目標としています。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
1年時に学んだ基本知識を基に、実際の現場に則した内容へとスキルアップを図ります。				
【実務経験】				
アップスサウンド代表として、コンサート、発表会、イベントなどを手掛ける。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	イントロダクション (1.年間の授業内容 2.就職を目標として)		
2	演習	デジタルミキサー (1.基本機能 2.レイテンシー (遅延) について)		
3	演習	マイク・DIの音質の違い (実際に楽器や声で、その変化や違いを体感する)		
4	演習	コンプ、ゲートの原理と使用 (機器と音についての理解)		
5	演習	リバーブ、ディレイの原理と使用 (機器と音についての理解)		
6	演習	音響測定について-1 (音響測定 の概念を理解する)		
7	演習	スピーシステム-1 (スピーカーの指向性)		
8	演習	スピーシステム-2 (グラウンドスタックとフライング)		
9	演習	スピーシステム-3 (ポイントソースとラインアレー)		
10	演習	ワークショップ-1 (舞台機構技術検定について)		
11	演習	ワークショップ-2 (舞台機構技術検定について)		
12	演習	ワークショップ-3 (舞台機構技術検定について)		
13	演習	ワークショップ-4 (舞台機構技術検定について 模擬テスト)		
14	演習	楽器について-1 (アコースティックギター、エレキギターの音についての研究)		
15	演習	楽器について-2 (ドラムセットについての研究)		
準備学習 時間外学習	疑問を常にメモしましょう。授業で使う機材の特性を調べて参加			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			エンジニアリングプロジェクト	
科目名	セルフプロデュース2		担当教員名	木下 智哉
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	606
授業の到達目標				
セルフブランディング能力の向上。企画、プロジェクトの立ち上げから制作までをチームで行う。プロジェクト制作を進める中で、企画の重要性、目標の設定の仕方、スケジュール管理、必要な人材の確保、トライ&エラーにおける修正術、結果の検証と改善点の発見等、セルフプロデュースにおけるすべを学ぶ。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する自己実現と自己啓発をクリエイティブな観点から学ぶ。自分たちで企画、制作、実践を行う。サイトを制作しコンテンツを発信するまでを行う。				
【実務経験】作詞・作曲・編曲・サウンドプロデューサー/SCOOP MUSIC所属。/2000年、エレポップ三人組ユニット「epidemic」でポニーキャニオンからデビュー。5年に及ぶユニット活動休止後、作家として活動を開始。関西を拠点に作詞、作曲、プロデュース等を手がける。/浜崎あゆみ、中川翔子、V6、NEWS、HeySayJump、AAA等の数々のアーティストへの楽曲提供やアニメの音楽制作などを手がける。				
日程	授業形態	内容		
1	演習	3ヶ月スケジュール制作		
2	演習	ビジネス作法、請求書、個人事業主としての基礎知識		
3	演習	プロジェクト制作.1 (チーム作成、目標設定、行程表作成)		
4	演習	プロジェクト制作.2 (打ち合わせ、楽曲制作)		
5	演習	プロジェクト制作.3 (楽曲制作、HP制作)		
6	演習	プロジェクト制作.4 (楽曲制作、HP制作)		
7	演習	プロジェクト制作.5 (楽曲制作、HP制作)		
8	演習	プロジェクト制作.6 (楽曲制作、HP制作)		
9	演習	プロジェクト制作.7 (楽曲制作、HP制作)		
10	演習	楽曲を売る様々な方法		
11	演習	iTuneへの楽曲登録の仕方/ 流通について		
12	演習	ポートフォリオ制作1 (プレゼン資料の作り方/プロフィールの書き方)		
13	演習	ポートフォリオ制作2 (プレゼン資料の作り方/プロフィールの書き方)		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	企画制作のための資料探し、データの整理、人材のブッキング			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3. 課題100%		
教材	教科書	授業時に配布するプリント各種。		
	参考書	なし		

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			ミュージックビジネスプロジェクト	
科目名	TACプロジェクト2		担当教員名	堤福男
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	707
授業の到達目標	産学連携で企業様とイベントなどに取り組み、コミュニケーション能力や、外部の人との関係性を構築させることで、学生の目標である音楽業界への就職に一人でも多く繋げることを目標とする。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>【1コマ目】産学連携でお世話になっているメディアブルポさんのイレギュラーで入ってくるテレビ番組収録や公開ライブの現場に参加するための講義.及び各イベント企画 【2コマ目】後期の目標であるイベント企画.及びマネジメントの課題に取り組みます。</p> <p>【実務経験】 マネージャー業をはじめ、イベントのプロモーション、メディア制作等にも携わる。 現在はそれらの業務に加え、後進の育成にもあたる。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	制作したフライヤーなど、販促物の配布を行う宣伝活動を実施		
2	演習	イベントに必要な資料（タイムテーブル、セット図など）の作成をレクチャー		
3	演習	10月25日のイベントの準備を実施		
4	演習	10月25日のイベントの運営		
5	演習	10月25日のイベントの振り返り・総括		
6	演習	10月25日のイベントに関する学生によるプレゼンテーション		
7	演習	テレビ収録現場の準備やレクチャー		
8	演習	テレビ収録現場でのワークショップ		
9	演習	テレビ収録現場に関する振り返り		
10	演習	マネジメントについての知識を学ぶためのレクチャー		
11	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践（レコーディング）		
12	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践（ライブ準備・制作）		
13	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践（ライブ運営）		
14	演習	各マネジメントチームによる報告会		
15	演習	総括		
準備学習 時間外学習	イレギュラーで入ってくるテレビ収録やイベント現場対応、ならびに企業様への対応に向けた準備を日々おこなっていく			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1.実技100%		
教材	教科書	適時、必要資料を配布します。		
	参考書	適時、必要資料を配布します。		

## スーパーeエンターテイメント科昼間I部 シラバス

授業科目			メディアビジネスプロジェクト	
科目名	映画撮影		担当教員名	岡田賢二
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限			教室	903教室
授業の到達目標	映画撮影に必要な基礎知識の習得。撮影機材及び特別機材の使用技術の習得。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する基礎の基礎をまずは机上にて学び、その基礎をもとに実技としてショートムービーを作る。また名作と呼ばれる作品を沢山観る。その中の真似できる技術を実際にやる</p> <p><b>【実務経験】</b> カメラワーク、映画映像制作等を手掛ける</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	撮影技術の基礎		
2	演習	撮影技術の基礎		
3	演習	照明技術の基礎		
4	演習	照明技術の基礎		
5	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞		
6	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞		
7	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞		
8	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞		
9	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞		
10	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞		
11	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞		
12	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞		
13	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	映像制作ムービーを見て、詳細におよぶ検証をする			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1) 実技試験 100%		
教材	教科書			
	参考書			